

令和4年度 我が校の学ぶ力向上策

【市町 目標】

○令和4年度教育施策の柱である「スクールESDくさつ」「英語教育草津のStandard」「New草津型アクティブラーニング」を推進することにより、「子どもの学ぶ力」を育成する。

【学校 目標】

○「協働学習を通して主体的に学ぶ子の育成」
～体育科の学習を中心に、子どもが解決したいと思う課題設定を通して～

【現状と課題】

○視点1 どの学年においても学習意欲に個人差が見られ、学習内容の理解度についても同様のことが言える。
○視点2 望ましい生活習慣や学習習慣の定着が全体的に弱い。
○視点3 子どもたちの個別の課題が多様であることから、学習指導や生活指導において、担任だけではなく、組織での相談や対応が必要になる場合が多い。

取組事項および評価指標

※評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】

【視点1】学びを実感できる授業づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○「老西スタイル」(め:めあての確認、じ:自分で考える時間、と:友だちと考える時間、み:みんなで考える時間、ま:まとめの時間)の定着。 ○1月毎の重点目標となる「老西っ子12か月プラン」の実施。	・児童アンケートによる「学ぶことが楽しい」の強い肯定率45%以上。		
	・児童アンケートによる「自分から学ぶことができている」の強い肯定率40%以上。		

【視点2】学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○子どもが主体の協働学習「共学び」の深化。 ○ICT機器を活用した学習環境のユニバーサルデザイン化。	・児童アンケートによる「相談して考えを深めることができた」の肯定率70%以上。		

【視点3】子どものために一丸となって取り組む学校づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○子どもの実態を学習計画に反映。 ○子どもの見取りを複数の教員で実施。	・児童アンケートによる「学習前に比べて、よく分かるようになった」の強い肯定率60%以上。		

◇「学ぶ力向上策」の実効性を高めるために、いつ、どのように職員全体で共通理解を図り、共通実践し、検証・改善していくのか、時期や手立て等を記載してください。

- ①「授業改善・学力向上推進部会」の定例実施(月1回程度)
- ②「全国学校体育研究大会滋賀大会」での授業公開…1・4・6年(11月11日)
- ③研究授業の実施…5年(6月)、3年(9月)、2年(10月)

今年度の取組の成果と課題

--